

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/30号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

好材料と悪材料の綱引き

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



先週はあまり目立った動きは見られず狭い範囲での静かな動きとなりました。ゴールドは1850ドルの攻防、米株価が7週間連続下落がようやくストップ、先週は約6%上げて終わったことは、ゴールドにとっては向かい風になったようです。ドルインデックスはその20年来の高値から3%、100ポイント下がり、長期金利も2.74%と、直近の3%を超える高値から13%以上上げており、これらはゴールドの下値をサポートし、株価の戻りでの売り圧力を相殺した形になりました。ドルの下落、長期金利の上昇が続けばゴールドはさらなる上昇がありえると考えますが、株価の動向が大きく盛り返せば、ゴールドの頭を抑えるでしょう。どちらがより強いかによって短期的なゴールドの方向が決まりそうです。金曜日にはFRBが重視するインフレ指標である4月のPCE（Personal consumption expenditure：個人消費支出）が発表され、年ベースでは6.3%のアップ（3月は6.6%）、コアPCE（エネルギーと食料を除けたもの）は4.9%アップ（3月は5.2%）と先日のCPIと同じく前月比では下落したことで、一部にはインフレもピークアウトしたとの見方もまた息を吹き返して株式市場にも買いがふたたび入って来ていると言えるでしょう。しかしインフレがこれで収束するという見方はいささか楽観的すぎるでしょう。エネルギー価格は上昇を続けるであろうし、それによりインフレへの圧力はより増していくでしょう。それは不況への恐れを増大させ、ゴールドを安全資産としてより魅力的な存在にしていでしょう。今週は月曜日は米国の休日で木曜日・金曜日はロンドンが休みです。営業日としては短い一週間であり基本的に大きな動きはなさそうですが、金曜日には雇用統計の発表があります。薄いマーケットで過剰な反応があるかもしれないので注意です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

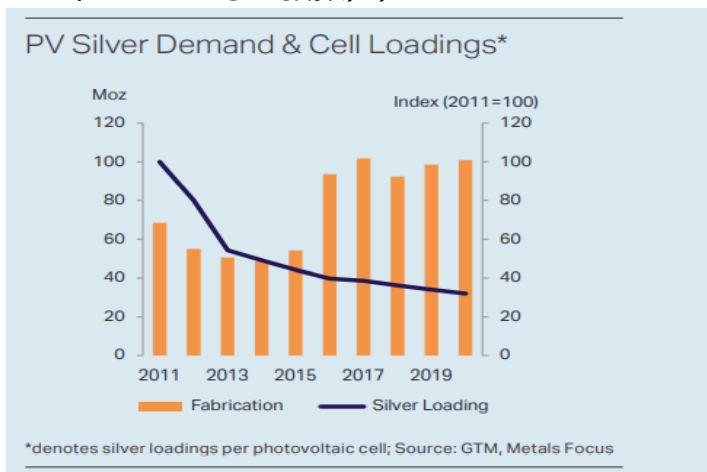
ゴールド以外の貴金属-シルバー 7

「シルバーの需要 2」

b. 太陽光 (Photovoltaic) 需要

脱炭素への動きが世界の潮流となっている現在、シルバー需要の最も伸びている分野が太陽光発電の分野（3,267トン）です。どの部分にシルバーが使われているかということ、太陽光パネルにシルバーペーストが薄く塗られているのです。現在、世界が「脱炭素社会」へと大きく舵を切中、もっとも期待が大きく実際に伸びているクリーンエネルギーが太陽光です。30カ国以上が来るべく数十年の間にゼロカーボン達成することを目標としており、太陽光パネルの設置は着実に伸びています。2020年に世界での太陽光発電による発電量は130GWを超え、18カ国が1GWを超えています。2010年にはこのレベルの国はわずか6カ国だけであったことを考えると10年で3倍に伸びたこととなります。この結果2021年にはこの分野のシルバー需要は3,267トンとなりました。技術革新により「省シルバー化」、つまり太陽光パネル一枚当たりのシルバー使用量の減少が10年で8割も進んでいるのにも関わらず、シルバーの使用量総量は毎年13~14%の割合で増大しています。これはいかにこの分野のシルバー需要の増大のスピードが大きいかを示しています。将来的にもまだまだこの分野でのシルバーの需要は伸びると考えられます。

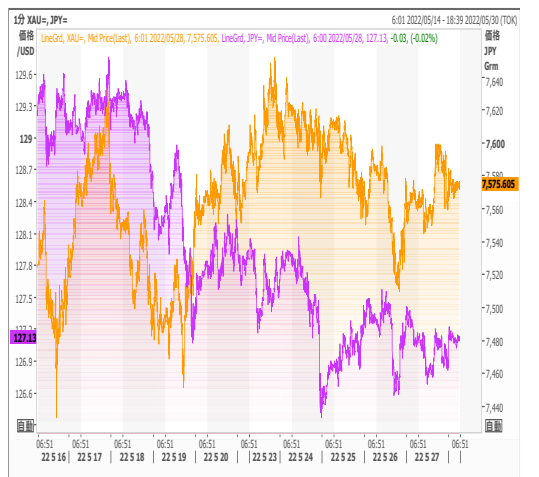
(太陽光需要とパネル一枚当たりのシルバー使用量(2011年を100とした指数))



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

